

令和6年度日高山脈襟裳十勝国立公園協議会第1回幹事会 議事要旨

■ 日時:令和6年10月11日(金)13:30~15:30

■ 場所:様似町中央公民館大ホール(WEB 会議併用)

■ 議事概要:

1. 開会

・北海道地方環境事務所 国立公園課長(統括自然保護企画官) 尼子より挨拶

2. 議事

(1) 審議事項

1) 日高山脈襟裳十勝国立公園ビジョン(骨子案)の検討について

・資料1-1、1-2について、事務局より説明。

・資料1-3について、北海道運輸局観光部観光地域振興課より説明。

<質疑等> ※→:事務局

・国立公園ビジョン(骨子案)はどのように作成されたのか経緯をご教示いただきたい。
→過年度に国立公園指定に向けた事務的な調整を行うための関係自治体連絡会議が設置されており、その会議の中で、指定後すぐにビジョンの検討に着手できるよう、議論の骨格となる案を作成したものであり、今後協議会・幹事会で議論を行っていくものである。

・ビジョン(骨子案)についてこれから肉付けがされていくものと思うが、保護についての記述が少なく、「原生性」で片付けてしまっているきらいがある。自然環境の価値を踏まえた内容とするべき。

→素案として記述をしていくにあたり留意したい。

・国立公園ビジョンの作成に向けて、構成員以外の方々から広く意見を収集した方がよい。

→ビジョンを反映させることとなる管理運営計画の策定に際してパブリックコメントを実施することとなる。

・環境への配慮に取り組むことが世界の潮流となっている。ゼロカーボンパークや脱炭素、脱プラなどの制度も情報共有を。

・持続可能な観光を目指す上で、GSTC に準拠した日本版持続可能な観光ガイドラインが参考になる。

<決定事項>

構成員から寄せられた意見なども踏まえて、事務局において素案の作成を行い、次回幹事会で提示する。

2) 日高山脈登山道適正利用について

- ・資料2-1について、帯広自然保護官事務所から説明。
- ・資料2-2について、日高町から説明。
- ・資料2-3について、愛甲教授から説明。
- ・資料3について、事務局から説明。

<質疑等> ※→:事務局

・アクセス路の取扱いや歩道(登山道)の管理者をどうするのかについても部会の議題に位置付けることが必要。

→その点も含めて準備会合での議論としたい。

・持続可能な管理のために、GSTC など世界的な管理基準を参考にすると良い。

<決定事項>

まずは幹事会構成員から希望者を募って準備会合を開催し、部会において議論する課題の整理等を行う。

3. その他

1) 会議の公開/非公開について

今後の国立公園の管理運営を議論する会議であるため、幹事会等も広く公開するべきとの意見が構成員からあったため、幹事会メンバーで議論して決定したい。

- ・幹事会等も広く公開するべきと意見した経緯の説明。
- ・事務担当者レベルの会議であり、議論に際して国立公園の保護に関する機微な情報(希少種の生息情報等)を取り扱い得ること、各構成員の機関において正式に決定する前の情報を提示して議論を行う場合もあることなどから、会議そのものを公開とはしない方が良い。
- ・資料及び議事概要は公開することとすべき。
- ・会議案は事前に時間的余裕をもって共有されたい。

<決定事項>

幹事会及び部会は非公開とすること、公開可能な資料及び議事概要は速やかに公開することを決定。

2) アドバイザーについて

ビジョン等の検討に当たって、規約第7条第5項のアドバイザーとして、公益社団法人北海道アイヌ協会及び公益財団法人アイヌ民族文化財団を招へいすることを確認。

4. 閉会